# しもごう

# 下郷町議会だより

令和元年8月

第88号

## ■目次


■令和元年第２回定例会【６月】

提出議案・人事・陳情 …… 2

補正予算・主な質疑・契約 …… 3～4

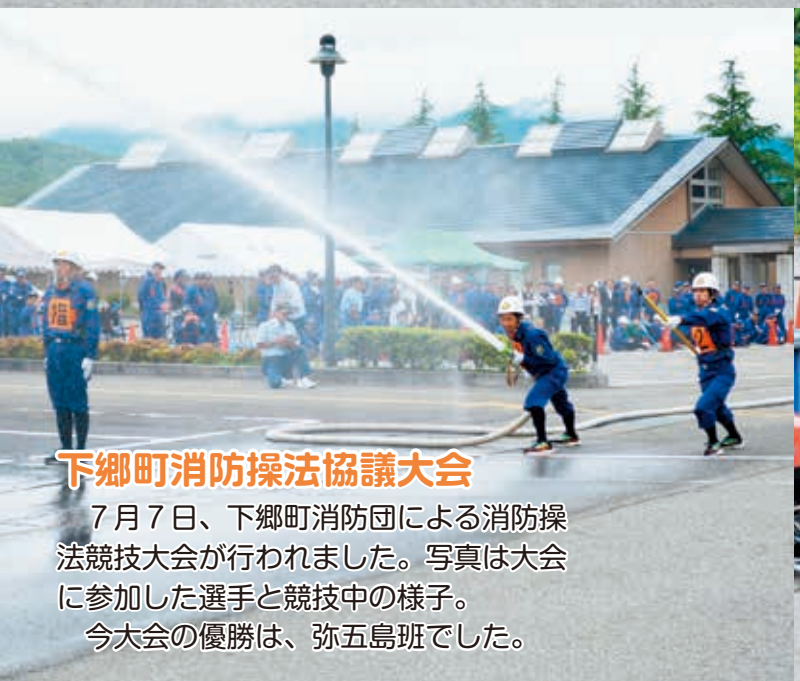
■一般質問 …… 5～10

■議会トピックス …… 11～15

■議会だよりギャラリー …… 16

第３分団第２部 弥五島班

第２分団第１部 成姫班



### 下郷町消防操法協議大会

７月７日、下郷町消防団による消防操法競技大会が行われました。写真は大会に参加した選手と競技中の様子。

今大会の優勝は、弥五島班でした。

第１分団第４部 音金十鶴班

# 6月定例会

６月定例会は７日から１４日までの８日間の会期で開かれました。

今定例会では、専決処分の承認、教育委員会委員の人事案件、条例の一部改正、契約案件、令和元年度補正予算など町提出議案１４件と、議員提出議案１件の１５件が審議され全て可決しました。

**【町提出議案】**

▼30年度下郷町一般会計の繰越明許費（報告）
▼専決処分（承認）
・下郷町税条例等の一部を改正する条例の設定
・下郷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の設定
・30年度下郷町一般会計補正予算
・30年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算
・30年度下郷町介護保険特別会計補正予算
・30年度下郷町農業集落排水事業特別会計補正予算
▼教育委員会委員の任命
▼下郷町介護保険条例の一部を改正する条例の設定
▼橋梁補修工事（湯野上橋）請負契約
▼雪寒建設機械購入契約
▼令和元年度下郷町一般会計補正予算
▼令和元年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算
▼令和元年度下郷町介護保険特別会計補正予算
▼令和元年度下郷町農業集落排水事業特別会計補正予算

**【議員提出議案】**

▼令和２年度及び復興・創生期間後も国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出

## 就学支援の意見書提出を議決

**◆令和２年度及び復興・創生期間後も国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出**

▽陳情者
下郷町大字沢田字前田乙４３５番地
星　新栄　氏　他１名

▽審査結果～採　択
（総務文教常任委員会付託）

▽意見書提出の議決
復興大臣などに意見書を提出することを議決した。

**◆教職員の長時間過密労働の解消に向けた意見書の提出**

**◆「ふくしま学力調査」中止の意見書の提出**

▽陳情者
下郷町大字沢田字前田乙４３５番地
星　新栄　氏　他１名

▽審査結果～継続審議
（総務文教常任委員会付託）
今後、２件を総務文教常任委員会で継続審議がなされる。

## 教育委員
## 白石　光史　氏　再任

白石光史委員の再任人事が６月定例会で同意されました。
白石委員は、平成19年６月に初めて教育委員となり今回で４期目となります。

令和元年度
一般会計補正予算

# 増税に伴う低所得者への支援を含む66,316千円を追加補正

今回の一般会計予算（６月補正）では、１０月からの消費税増税に合わせ国の事業であるプレミアム商品券（おもいやり商品券）や介護保険料の軽減など低所得者への支援、下郷町への移住支援金、町職員の人事異動に伴う人件費の調整などの補正が行われました。

## 一般会計予算（６月補正）の主なもの

### ▼歳入

| | |
|---|---|
| 地域創生総合支援事業県補助金 | 450万円 |
| ふくしま移住支援金給付事業県補助金 | 150万円 |
| プレミアム商品券事業費国庫補助金 | 750万円 |
| 消防団救助能力向上資機材緊急整備事業国庫補助金 | 86万4千円 |
| 介護保険低所得者保険料軽減国庫負担金 | 267万9千円 |
| 介護保険低所得者保険料軽減県負担金 | 133万9千円 |

### ▼歳出

| | |
|---|---|
| コミュニティ助成事業（LED防犯灯設置助成） | 250万円 |
| 下郷町移住支援金 | 200万円 |
| プレミアム商品券交付金（おもいやり商品券） | 3,750万円 |
| 災害対策備品購入 | 259万5千円 |
| 幼児教育無償化システム改修委託料 | 399万3千円 |
| 低所得者保険料軽減操出金 | 535万6千円 |

## 予算内容と質疑

### ▼消防団救助能力向上資機材緊急整備事業補助金

〈内　容〉

本補助金を充当し、災害対策として、手動式油圧切断機と携帯型デジタル簡易無線機を購入するもの。

**問**　手動式油圧切断機と携帯型デジタル簡易無線機を購入するとあったが、機械の使用説明等はどうするのか、またデジタル無線機は、各班に整備するのか。

**答**　油圧切断機は３台購入し、消防機関部である、塩生班、刈林班、湯野上班に配備し、配備されてから広域消防に研修を依頼する。

携帯型デジタル簡易無線機は10台購入し、通常は役場に配備して捜索などの現場に持っていき、各部長などに使用させる。

### ▼下郷町移住支援金

〈内　容〉

ふくしま移住支援金給付事業補助金１５０万円については、令和元年からの新規事業で、福島県と市町村が国へ共同申請を行っている。

福島県が地域再生計画を策定し、ふくしま移住支援金給付事業により、新たに移住支援を図っていく内容である。

**問**　下郷町移住支援金として２００万円とあるが１回の金額なのか、１件の金額なのか。

**答**　単身世帯だと60万円、２人以上の世帯者だと１００万円上限で、２世帯想定計上している。１回の支出である。

### ▼プレミアム商品券交付金（思いやり商品券）

〈内　容〉

消費税増税が低所得者及び子育て世帯に及ぼす影響を緩和するため、2万5千円分の商品券を2万円で購入することができる制度。

**問** 利用可能店の募集で何件応募があったのか。

**答** 164店舗中、28店舗が登録。まだ不足していることから、約1カ月間の追加募集とした。

**問** 低所得者（非課税者）への配慮はどうなのか。

**答** 対象者へ引換券を交付し、役場ではなく郵便局で商品券に換えていただく。

**問** せっかく馴染んできた「しもごろうカード」に組込むことはできないか。

**答** 町のプレミアム商品券事業と区別するために「おもいやり商品券」としている。この事業はすべて国の補助事業なので「しもごろうカード」とは別の事業となる。

### ▼低所得者保険料軽減操出金

〈内　容〉

消費税増税に伴い、介護保険法施行令が改正され、町の条例も改正される。保険料軽減の対象者拡大と、軽減率の改定により保険料の減額となることから、この差額を一般会計から介護保険特別会計へ繰入し、補填する予算。

**問** 保険料軽減率の下げ幅は、本町ではどの位となっているか。

**答** 従来は第1段階のみが軽減対象だったが、第3段階まで該当となる。下げ幅は、1段階が0・075、第2段階は0・125、第3段階は0・025となる。

**問** 保険料の減額により、介護保険の財源は厳しくならないか。

**答** 国が二分の一、県が四分の一を負担する。

## 橋梁補修工事・除雪機械購入契約案件を議決

### 橋梁補修工事請負契約

○**場　所**　湯野上橋

○**契約方法**　指名競争入札（6社入札）

○**契約金額**　1億4850万円

○**契約相手**　三立土建株式会社
代表取締役　浅沼　秀俊

〈内　容〉

本工事は補助事業で補助率58・3％となっている。下部工の補修及び制震ダンパー設置による耐震補強等を行い、工期は令和2年3月末となっている。

〈主な質疑〉

**問** 会津縦貫南道路工事の大型車両が通るが影響はないのか。

**答** 大型車両の通行に対しては交通規制の中で対応する。

### 雪寒建設機械購入契約

○**車　種**　ロータリー除雪車14t級

○**契約方法**　指名競争入札（5社入札）

○**契約金額**　3283万5千円

○**契約相手**　喜多方ブル自工株式会社
代表取締役　上野　利八

〈内　容〉

現在、町直営で路線の拡幅等に使用している、日立ロータリー除雪車13t級の更新に伴い、新しい除雪車を導入するもの。日立除雪車は平成10年に導入し20年が経過していた。

〈主な質疑〉

**問** 今年度の除雪時期に納車は間に合うのか。

**答** 急ぐようにしているが年度末付近の納車になるかと思われる。

湯野上橋の全景

稼働中のロータリー除雪車

# 一般質問

## ５議員が
# 町政を問う

６月定例会では、５人の議員が１４件の一般質問を６月１２日に行い、活発な議論を展開しました。６ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。

**山名田久美子**（６ページ）
- ●はしか予防接種について
- ●有害鳥獣被害について

**玉川　邦夫**（７ページ）
- ●相次ぐ殺傷事件からの教訓
- ●長期展望に立った観光事業を目指して
- ●在京下郷の方々を町おこし協力隊に

**湯田　健二**（８ページ）
- ●町振興計画について
- ●町道弥五島白岩線の改良について
- ●農業振興について

**星　　輝夫**（９ページ）
- ●観音沼森林公園アクセス道路改修について
- ●塔のへつりの安全対策について
- ●原発事故での賠償金請求について

**小椋　淑孝**（１０ページ）
- ●町の機構改革状況について
- ●保健師の人数について
- ●町ホームページの活用について

“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をただすことで、報告や説明を求めることです。

山名田 久美子 議員
kumiko yamanada

## 質問 はしかワクチンの助成は

## 答弁 上限はあるが助成制度はある

**問** はしかワクチンは、1歳と小学校入学前の計2回が定期接種の対象で、公費助成となる。

日本では、1978年から定期接種が始まり、2回接種すれば予防ができる。ただ、1990年4月1日以前に生まれた人は、当時の制度で1回だったため免疫が不十分で感染の恐れがある。

定期接種の対象でなければ原則自己負担になり、予防接種は1回1万円程度、抗体検査は数千円かかるようである。

現在各市町村では、39歳から56歳までの男性を対象に、免疫の有無を調べる抗体検査とワクチン接種が無料になるクーポンを配布している。

下郷町では対象となる年代の人数は何人になるのか。また、それ以外1990年4月1日以前に生まれた町民への助成制度はあるのか伺う。

**答** 今年度は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性が対象で、187名となっている。

妊娠を予定、または希望している女性及び配偶者に対し抗体検査は6600円、予防接種は1万1000円を上限に助成している。

これからも広報等で周知をしていく考えである。

## 質問 有害鳥獣被害の実態は

## 答弁 有害鳥獣の個体数をどう減らすかが課題

**問** 現在町内において、有害鳥獣被害は田畑に限らず観音沼や中山風穴でも見られる。

観音沼では、ニホンジカによるミツガシワや水芭蕉の被害が多く見られる。珍しい浮島があるが、この浮島は枯れた植物が腐らず積み重なったもの（泥炭）と、ミツガシワの根で作られている。そのミツガシワが被害に遭うということは、浮島ができにくくなる。

中山風穴ではまだ指定地内での被害は見られないが、いこいの広場周辺で群生していたピンクのイカリソウが、イノシシの被害により掘り起こされほとんど見ることができなくなった。

被害が大きくなる前の対策として、柵やネット、わなの設置は考えられないか。

森の案内人や尾瀬沼の保護にかかわっている方々の意見も聞いてはどうか。また、わな狩猟免許取得に補助金を出し、各行政区から2名の推薦を得て講習を受けてもらうとしていたが、その後どうなっているのか伺う。

**答** 観音沼にはシカ駆除わなの設置や、防鳥ネット設置をしてきた。しかし、わなにかからないのが現状である。観光地でもあり、景観上の問題や安全対策を優先に考えなければならない。また鳥獣保護区の指定を受けているため対策は限定される。どのようにして個体数を減らすかが問題であり、町捕獲隊や森の案内人の方の提案・意見を聞きながら対策をしていく考えである。

わな狩猟免許取得推薦者は、6月10日現在で14行政区27名である。有害鳥獣捕獲の担い手確保が期待される。

観音沼と浮島の様子

## 質問 不登校児への卒業後の支援体制を問う

### 答弁 民生委員等の情報により社会参加の動機づけを図る

**問** 引きこもっていた成人が集団登校児童を襲った事件、引きこもりの息子の行動に危機感を持った父親の殺傷事件。引きこもり＝犯罪予備軍といった偏見が、今、大きな社会問題になっている。本町の「不登校児童生徒」への卒業後の支援体制について伺いたい。また、この憂慮すべき事態に、学校現場や家庭・地域にどのような支援が大事なのかを伺いたい。

**答** 義務教育後は、プライバシー等の問題を抱え十分な関わりができていない。

今後、区長や民生委員からの情報を共有しながら支援をしていきたい。なお、こうした社会問題の未然防止のために、警察や行政による防犯パトロールの強化、スクールカウンセラーやソウシャルワーカーへの橋渡しを行っているところである。

集団登校時の見守り隊活動の様子

玉川 邦男 議員
kunio tamakawa

## 質問 長期展望に立った観光事業政策を問う

### 答弁 素晴しい自然と環境を滞在型観光に生かしていく

**問** ドローンなどを使って、イベントの主役である町民の活動の様子や観光客の満足されている表情を、ふんだんに取り入れた観光ビデオを製作し、発信してほしい。

**答** (株)ミルインターナショナルジイゴ坂スタジオと委託契約して、動画配信したり、観光キャラバン会場で上映したりしている。ドローンによるビデオ制作について、今後観光協会と協議していく。

**問** 今年から観光公社に「旅行取り扱い」の資格を持った職員が配置された。そこで、現在の「一般財団法人」から、自主性をもった事業展開がより可能だと言われている「一般社団法人」に、経営形態を変えていく構想はあるのかを伺いたい。

**答** 社団法人は、同一事業団体の集まりを想定した法人なので、現在、町観光公社の運営形態にはそぐわないと考える。

**問** 大峠までの大自然を長期展望に立って、森林浴・森林セラピーの森に指定し、心身の疲れを癒す森林公園づくりを目指していく。遊歩道や案内板の設置、動植物の保護、エコカーの運行、温泉との連携など、癒しの空間を提供できれば、滞在客も増えるだろうと思うがどうか。

**答** 第6次振興計画策定にあたり、町民交えてのワークショップを開催する予定である。素晴しい自然環境を生かした滞在型を観光公社の事業を初め、積極的に考えていきたい。

## 質問 在京下郷の懇談会のあり方を問う

### 答弁 まちづくりに向けた提言をテーマにしていく

**問** 学識豊かな方、戦後苦労して企業を起こしてきた方、これからの故郷に関心を持たれている方々が多くおられる。「企業誘致」「民泊」等のまちづくりのための知恵を頂けるような懇談会にしてほしい。

**答** 会則に「情報交換を密にし、町の発展に寄与する」を目的にしている。本年は、二人の地域おこし協力隊の活動報告と在京会員のまちづくり提言を検討していく。

湯田 健二 議員
kenji yuda

## 質問 町民に身近な振興計画の作成と実行を

### 答弁 住民、行政、議会の協働による計画の策定を行う

**問** 第1次振興計画が策定された昭和50年から現在までに、本町を取り巻く環境は大きく変貌している。深刻な過疎化や農業情勢の変化は大変な状況にあり、昭和50年と平成31年4月を比較したとき、人口で約50%の減、高齢化率は約3・7倍となっている。このような中、町民の声や多くの参加をいただき第6次振興計画を策定していただきたいがどうか。

**答** 現在、第6次振興計画アンケートの結果や第5次振興計画の評価、検証を行い課題や問題点を分析している。今後、職員で組織される策定委員や振興計画審議委員会、町民の声をいただくためのワークショップなど、住民、行政、議会との協働による総合的な計画策定をしてくことが重要であると考える。

第5次振興計画の検証結果やアンケート結果を踏まえ、豊かなまちづくりの実現のため計画を策定していきたい。

第3、4、5次振興計画

## 質問 農業振興の課題への対策と計画の進捗状況について問う

### 答弁 国や町の補助金による対策 慎重な計画の見直しを行う

**問** 高齢化、後継者不足、それに伴う耕作放棄地の増加や有害鳥獣による被害が農業生産の支障となっており、早急に対策を講じる必要があると考えるが町長の考えはどうか。

**答** 農業を取り巻く環境は大変厳しい状況であり、有害鳥獣の対策も講じる必要があると考えている。国の中山間地域等直接支払、多面的機能支払交付金や町単独補助金を活用し対策を行っていきたい。

**問** 平成30年度事業の農業振興地域整備計画の見直し業務委託は終了しているのか。また、今年度は予算化されていないが進捗状況はどのようになっているのか。また、山村振興法関係の状況はどのようになっているのか。

**答** 計画見直し業務は完了しており、委託の成果品と農家意識調査の結果を基に原案の作成を行う。今後、協議会の設置や町民への説明会へつなげていきたい。

山村振興法について、県で定めた山村振興法基本方針に合致するよう見直しに向け検討、協議していく。

## 質問 冬期間通行止めの解消と町道の早期改良を

### 答弁 県への要望の継続と事業化へ向けた検討を行う

**問** 県道高隋田島線の白岩水門間は、冬季間は交通止めとなっており、県ではバイパス化でこれの解消を図るとしているが連絡はない。

また、弥五島白岩線の通称阿久戸坂は重要な路線であることから一日も早い改良お願いしたいがどうか。

**答** 冬期間の通行止め解消については、今後も県への要望を継続していく。町道である阿久戸坂については、スケジュールや財源等の条件を踏まえ、事業化に向け用地交渉とともに検討していく。

## 質問　安心・安全なアクセス道路整備を

### 答弁　現道を利用した管理体制で部分的な拡幅を検討していきたい

**問**　国道289号から観音沼森林公園へ向かう道が便利なため、交通量が増えていると聞いた。地元住民しか使用していなかった道路だが、大型バスも運行するようになっている。

　このことから、事故が発生する前に車が安心してすれ違えるよう拡幅・改良工事が必要と考えるがどうか。

**答**　国道289号から観音沼森林公園へ向かう南倉沢野際線は、法令に基づき1日当たりの計画通行量を5000台以下の第3種第5級としている。これを2車線化拡幅するためには、1日当たり5000台以上の第3種第4級に格上げする必要がある。格上げした場合、現道の拡幅だけでは対応できなくなる。

　現状では、現道を利用した道路管理体制のもと、部分的に拡幅等が可能な箇所については検討していきたい。

星　輝夫　議員
teruo　hoshi

## 質問　原発事故に伴う賠償金請求の状況は

### 答弁　各行政区で7割の進捗　町は対象でなく今後情報収集を

**問**　各行政区で進んでいる原発森林補償請求について町はどの程度把握しているのか。また、町の森林補償請求の手続きは終了しているのか。

**答**　東京電力の森林関係賠償金請求については、請求事務を下郷町森林組合が行っており、情報提供を受けた直近の状況として、7割程度の進捗とのことである。

　また森林補償請求について、当初よりその対象を個人、または中小法人としており地方公共団体は含まれていないため、現在は請求手続きを行っていない。

　今後、東京電力からの情報に留意し、県や近隣町村と情報共有をしながら対応していきたい。

## 質問　安全確保に向けて県や国へ打診はできないのか

### 答弁　個別活用計画策定の検討と安全確保に努めたい

**問**　国の天然記念物に指定されている塔のへつりで、転落防止の手すり設置などまだ安全確保が必要と考えるがどうか。

**答**　指定地内において岩肌への変更をする場合、文化庁への現状変更申請が必要となってくる。また、手すり等の設置については、観光を目的とした公開活用の位置づけとなるため、文化財保護法に基づく個別の文化財保護活用計画が必要となる。

　今後、計画の策定に向け、検討をしていきたいと考えている。また、安全確保についても県、国と協議しながら行っていきたいと考えている。

塔のへつりの様子

小椋 淑孝 議員
hidetaka ogura

## 質問 町機構改革のその後を問う

### 答弁 組織全体を見据えた人員配置を行っている

**問** 4月から総合政策課が設置されたが、企画政策係が3名と1名減、商工観光係が2名と1名減、そして課長補佐が不在ですが、12月議会の説明から何か事情が変わっての人数減なのか、そして総合政策課の予定人数が減った分、どこの課が増員となったのか。さらには、町づくりの企画、政策、町の発展には観光の振興が欠かせないと話していましたが、総合政策課には課長補佐がいない。総合政策課の課長となれば、商工観光係もあることから不在が多くなり、課長補佐は必要と感じるが、必要ないと判断したのか。課長補佐を置く場合と置かない場合の基準、もしくは町長の考えをお願いします。

**答** 各課の人員配置は、組織全体を見据えて、年齢構成や経験年数・業務内容等を配慮して、人員配置しているが非常に苦慮している。課長補佐を置ける基準というのはない。

町長の専決事項だということを申し添えてご理解願いたい。

4月から設置された総合政策課

## 質問 町民の健康維持・推進への影響は

### 答弁 保健師の確保へより一層努める

**問** 3月で保健師1名が、定年退職され、公民館勤務として再任用されたが、保健師の新たな採用はなかった。町民の健康推進に、保健師の役割は重要と思われるが、各種保険事業や町民の健康維持・推進に、影響がないのかお伺いします。

**答** 公募期間中に応募者がなかったため、試験を実施していない。県の医大や中央病院にもお願いした経過がある。早め早めの対策として、高校生時代から家庭に説明したりするのが、私の考えているところです。

## 質問 迅速な町の情報発信を

### 答弁 個人情報の取扱いも含め検討していく

**問** 冬期間は、インフルエンザが流行し、今年はつい最近までインフルエンザに感染した子供がいたと聞いている。感染拡大を防ぐ手段の一つとして、町ホームページに各小中学校・保育所の感染者数をリアルタイムに載せていけば、携帯などで確認した保護者は、外出先や接触を防ぐ大きな手段になる。リアルタイムでホームページに掲載し、有効活用していくことが重要と思うが、町長のお考えをお伺いします。

**答** 現在、保護者へのお便り連絡やメールなどが中心となっておりますが、インターネット上での公開は、利便性が高い一方で、個人情報の保護もまた重要な事項であろうかと思う。本町の場合、児童生徒数が少ないことから、インフルエンザ患者個人が特定されてしまう恐れも考えられる。町民あるいは学校、そして保護者と話し合いをしながら、検討していく。

# 「道の駅しもごう」疑惑の調査結果を町長が報告

**当初、町長は6月定例会閉会後に「道の駅しもごう」の調査結果を報告するとしていたが、議員内から「報告は全員協議会で行うべき」と異論が出た。**

**全員協議会を開催するべく、議会運営委員会が招集されたが、「報告を聞いたのちに全員協議会を開くべき」との結果が出た。**

**町長の報告と全員協議会の内容については次のとおり。**

下郷町地域振興株式会社が管理する道の駅しもごうの疑惑報道について、内部調査を行いましたので議員の皆様にご報告いたします。

調査対象期間は平成27年4月から平成29年3月までとし、調査期間は平成31年1月から令和元年5月まで行った。

調査内容は、売上の着服の有無、購入物品の私的流用の有無、ガソリン代の二重請求の有無、旅費等支給の処理状況などを書類審査や聞き取り調査により実施した。

**〈調査結果〉**

**▼売り上げの着服について**

総勘定元帳での管理状況を調査し現金、支払額、通帳入金額は合致しており売上金の着服はなかった。

**▼購入物品の私的流用の有無**

購入品の確認や販売店への確認、聞き取り調査を行った結果、道の駅しもごうで使用しないものが確認された。

**▼ガソリン代の二重請求の有無**

必要書類の提出はなく口頭で了承をもらい車代が支払われていた。車代を受け取っているが私用車に会社経費でガソリンを給油するなどが確認された。

**▼旅費などの支給は適正に処理されていたか**

出張命令簿に記載、決裁されていない旅行や旅行行程が一致しない旅行、また超過勤務と日当の重複支給などが確認された。

それらの要因として、組織の管理体制、各種規定の非準拠、会計管理やそのチェック体制などが挙げられた。

再発防止として駅長を中心とした組織管理の確立、コンプライアンスの徹底、関係諸帳簿を整備しチェック機能の確立、クレジットカードの廃止などの提言がされた。

## 議員からの質疑

**問** 3月議会で道の駅しもごうの指定管理について認定・承認したが、「下郷町振興株式会社」にこのまま任せるのかどうか、再検討も考えられるがお考えを伺いたい。

**答** 町長 今、ここで考え直すというのは発言が早いと考えている。

**問** 今回の疑惑について、町民の皆さんが関心を持っている。カードについてもなぜ2枚必要だったのかなど、今回の事態を究明し責任をもってやっていただきたい。

**答** 町長 管理運営を進めていくこと、再発防止を進めていくことを申し上げる。

## 議員からの意見

今回の疑惑の金額はなかったとしても、今後このようなことが無いようにお願いし株主総会の結果を待ちたい。また、この問題に議会としてどこまで介入することが正しいのか、他にも町が出資している会社があることからも検討していかなければならないと考える。

これは意見ですので答弁は結構です。

道の駅「しもごう」

## 6月3日
## 福島市 杉妻会館
## 県町村議会議長会総会

# 佐藤 盛雄 議長
# 総会の議長を務める

令和元年6月3日、福島市杉妻会館で福島県町村議会議長会の定期総会が行われ、総会の議長に、下郷町の佐藤盛雄議長が選ばれた。

総会では県内各地方の町村議会議長会からの議題や、ふくしまの復興・再生に関する特別決議、会長等役員の改選など多くの議題がある中、議事進行を務めた。

総会の内容は下記のとおりです。

議事進行を務める佐藤議長

**議　事**

**▼地方町村議会議長会提出議題の審議について（23件）**

○南会津地方町村議会議長会提案議題

・会津縦貫南道路並びに栃木西部・会津南道路の整備促進について

・一般国道289号「八十里越」区間の開通に向けた周辺道路未改良区間の整備促進について

**▼役員改選**

会　長
川内村議会議長
渡邉　一夫氏

副会長
磐梯町議会議長
鈴木　久一氏
塙町議会議長
大縄　武夫氏

監　事
大玉村議会議長
遠藤　義夫氏
会津坂下町議会議長
古川　庄平氏
平田村議会
上遠野　健之助氏

# 佐藤 勤 議員
# 自治功労者表彰を受賞

6月3日の福島県町村議会議長会総会で佐藤勤議員が自治功労者（町村議会議員として11年以上在職功労者）の表彰を受賞されました。

6月定例会開会日に佐藤議長より表彰状と記念品の伝達を行いました。また、受賞者のあいさつでは議員各位並びに町執行部への感謝を述べられました。

自治功労者表彰を受賞された 佐藤 勤 議員

議長より賞状を伝達

# 7月3日 南会津地方町村議会議員大会

# 下郷町議会から2題を提案

## 南会津地域の要望を国・県へ

南会津町「御蔵入交流館」で第70回議員大会が開催されました。

まず初めに、第70回の記念講演として、ラジオ福島のパーソナリティーである菅原美智子氏をお招きし、「言葉の魅力・言葉の魔力～笑顔の行方」と題しご講演をいただきました。

「笑顔で話す言葉には人を惹きつける魅力・魔力があり議会という多種多様な難題を扱う場所こそ笑顔で臨んでいただきたい」と話されていました。

講演を行う菅原氏

湯田議員が町議会を代表し提案理由を説明

本大会では、湯田純朗議員が「地域高規格道路会津縦貫南道路の整備促進について」と、「第三セクター会津鉄道・野岩鉄道並びに生活バス路線への支援措置について」の2件を提案し、説明を行いました。

各町村が抱える諸問題に対する要望や、大会決議、ふくしま復興・再生に関する特別決議などが審議され、下郷町議会提案を含めた12件全てが全会一致で可決されました。

特別決議文を述べる佐藤議長

また、昨年の大会で可決された要望の経過報告については、次のとおりです。

**▼地域高規格道路会津縦貫南道路の整備促進について**

○湯野上バイパスについて、今後も国に事業促進を働きかけていく。

○田代インターチェンジ（仮称）と下郷インターチェンジ（仮称）の間に新たなインターチェンジを設置することについては、今後の利用状況を見ながら検討する必要があると考えている。

○小沼崎バイパスの事業促進については、（仮称）田代トンネルの掘削工事と（仮称）下郷大橋の橋梁上部工事が着工となった。

○下郷田島バイパスの早期事業促進については、各種設計の実施、用地買収を進め一部区間で工事が着手されている。

**▼第三セクター会津鉄道・野岩鉄道並びに生活バス路線への支援措置について**

○令和元年度から3か年を期間とした経営健全化計画に沿って経営安定化補助金による支援を行う。

○県会津線等対策協議会としても国及び国会議員への要望を続ける。

○生活バスについては、市町村をまたがって運行しているバス路線を対象に、路線の欠損額をバス事業者に対し国と協調して支援していく。

## 5月22日 福島県町村議会広報研修会

# 住民に伝わり、住民に役立つ議会だよりを！

中央から議会広報サポーターの芳野政明氏を講師に招き、前半は、「効果ある議会だよりの編集」についての講義、後半は県内７町村の議会広報クリニックが行われ、予定時間を超える熱の入った研修となりました。

議会だよりで最も読者を引きつけるページとして、芳野先生は冒頭に、どんな一般質問があったのか、政策提案の結果はどうなったのか、この二つをあげました。

そこには、読んでもらえるような魅力ある議会だより編集を我々が求められています。

講演を行う講師の芳野政明氏

読みたくなるような紙面づくりには、

- １３字以内のタイトル
- 伝えるものが見える写真とキャプション
- 住民が登場するインタビュー企画

ということを改めて強く感じさせられた研修会でした。

## 6月23日 第28回青少年健全育成世代間交流事業

# パークゴルフで世代間の交流を

６月２３日、大川ふるさと公園で下郷町青少年育成町民会議主催の世代間交流事業が開催されました。

町議会からは副議長、総務文教常任委員が来賓として出席し、競技に参加する委員もいました。

今年度からパークゴルフに変更となり、参加チームは１６チームで地域の小・中学生からおじいちゃん、おばあちゃんまでの４名でチームを作りパークゴルフを通じて世代間の交流を深めていました。

# （仮称）下郷大橋上部工事安全祈願祭

**7月11日**
**下郷町小沼崎地内**

（仮称）下郷大橋の完成イメージ

７月１１日、下郷町小沼崎地内の現地で工事の安全祈願祭が執り行われた。

安全祈願祭には町議会議員を含めた約５０人が出席し神事を行った。

（仮称）下郷大橋は国道１１８号小沼崎バイパスの一部となるコンクリートアーチ橋で、河川内に橋脚を立てずアーチ分は２００mの長さになる。このアーチ分の長さは東北で１番目に長く、全国でも８番目に長い橋りょうとなる。

高度な技術を要する工事で、一般の方が工事状況を見ることのできる展望台の設置も予定されている。令和３年度末の完成を目指すとのこと。

**7月12日**
**下郷ふれあいセンター２階研修室**

# 県道高陟田島線改修促進期成同盟会総会

７月１２日、下郷ふれあいセンターにおいて、県道高陟田島線改修促進期成同盟会総会が開催され下郷・南会津両町議会議員が出席した。

本路線は、通勤・通学に利用される生活道路であり、国道１２１号が不通となった時の代替路線として重要な県道である。

総会では南会津建設事務所から２つの事業内容の説明があった。

１つ目は、湯野上地内で、会津縦貫南道路建設に伴う作業道路として国が県道の拡幅を行った。これは賃借によるものであることから、県道として拡幅用地を買収するために用地測量事業を行う予定とのこと。

２つ目は、下郷町落合地区の踏切で一部路盤が下がっていることから補修工事を行うとのこと。

質疑では、沢田地内の一部歩道が途切れている箇所について今後の考えを尋ねたところ、既存の側溝に蓋をかけ高さを合わせるなど方法を検討しているとのこと。また、白岩・水門間の道路周辺の木の伐採の予定を尋ねたところ、道路敷地内であれば伐採できるが現地を確認し支障がないようにしたいとの回答だった。

現地視察は、現在も要望を続けている落合集落内の狭隘部分について現状説明を受けた。

落合集落内での現地説明

発行：福島県南会津郡下郷町議会
編集：議会広報常任委員会

〒969-5345 下郷町大字塩生字大石1000番地
E-mail：gikai_01@town.shimogo.fukushima.jp
TEL：0241－69－1123
FAX：0241－69－1167

# 議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを写真でレポート

## ◆子どもたちが地元の工場を訪ねる◆

作業を見学する子供たち

### 「アイエー・フーズ工場」

ふるさと体験実行委員会の「わくわくたんけんし隊」事業で、小学生（会員数１６名）が左走地区にある食品工場を見学しました。

この時期は、こんにゃくよりは“心太（ところてん）”の製造で大忙しということです。

工場に入るときは、バイ菌を持ち込まないようにと頭にキャップをし、消毒室を通っていきます。製造過程は、ほとんどが自動化されていました。左走は食品を製造するための水や気候が適しているということです。

## 6月議会を傍聴していただきました。

白岩地区のサロン「白友会」の皆さんに議会を傍聴していただきました。３月に桃曽根のサロンで傍聴したことを知り、地元の議員さんに教えていただきながら参加することができたとのことでした。今回残念ながら参加できなかったメンバーの方は「ぜひ行ってみたかった」と話されていたとのことです。

今後、一層魅力ある議会を目指してまいります。ありがとうございました。

**議会からのお願い**

議会だより取材のため、議会議員（広報常任委員）が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

**議会を傍聴しませんか**

町議会定例会は３月・６月・９月・１２月に開かれます。
お問い合わせは町議会事務局（６９－１１２３）まで

**議会広報常任委員会**

| | | |
|---|---|---|
| 委員長 | 山名田 | 久美子 |
| 副委員長 | 玉川 | 邦夫 |
| 委員 | 猪股 | 謙喜 |
| 委員 | 小椋 | 淑孝 |

## 編集後記

私たちは、日頃のストレスをどのようにして解消しているのでしょう。大人は、山歩きやショッピングなど様々です。ところが、子どもはその解消がうまくできず、時には活動エネルギーまでも失ってしまいます。厚生労働省は「精神疾患」を加え、五大疾病に切り替えました。脳卒中やがん患者の数を超える勢いで「うつ病・認知症」が増えています。そこで今注目されているのが森林の中での癒し。その癒しの舞台は、身近にたくさんあります。

（玉川　邦夫）